



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA  
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,  
 OSAKA, JAPAN

September 2004~05 No.3  
 Chartered July 20, 1982

## 主題 YS THEME (2004~2005)

センテニアルクラブ会長：『人が人として心豊かに生きるために！』  
 国際会長：“Let Your Light Shine”『輝かせ あなたの光を』  
 アジア会長：“Love your neighbors as yourself.”  
 『自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ』  
 西日本区理事：『“皆な仲間” 働こう!!』  
 中西部長：『響き合い、ともに歩む』

## クラブ役員 Officers

会長	石津 雅人
副会長	谷川 俊一
//	鎌田 史朗
書記	山田 孝彦 (主)
//	栗山 佳三
会計	三浦 直之 (主)
//	鎌田 史朗
対外会長	坂本 千春
Y連絡職員	浜野 昌保

## 月間強調テーマ：『Menette』

9月の聖句

【 Biblical Message of September 】

あなたがたは皆、信仰により、キリスト・イエスに結ばれて神の子なのです。洗礼（バプテスマ）を受けてキリストに結ばれたあなたがたは皆、キリストを着ているからです。そこではもはや、ユダヤ人もギリシャ人もなく、奴隷も自由な身分の者もなく、男も女もありません。あなたがたは皆、キリスト・イエスにおいて一つだからです。

(ガラテヤの信徒への手紙 3章26~28節)

9月の例会

【 September Club Meeting 】

### ○ 9月第1例会

日時：2004年9月15日(水) 18:30~20:30  
 場所：東洋ホテル3階 司会 栗山 佳三君

- |                  |         |
|------------------|---------|
| 1. 開会点鐘          | 石津 雅人会長 |
| 2. ワイズソング        | — 同     |
| 3. ゲスト紹介         | 栗山 佳三君  |
| 4. 聖句朗読          | 福永 義彦君  |
| 5. 日々の糧・晩餐       | — 同     |
| 6. フレンドシップ・パーティ  | — 同     |
| 7. インフォメーション     | 各担当     |
| 8. お誕生日祝い・ニコニコ献金 | — 同     |
| 9. 閉会点鐘          | 石津 雅人会長 |

### ○ 9月第2例会

日時：2004年9月22日(水) 18:30~20:30  
 場所：大阪YMCA土佐堀館9階

- \*9月例会当番 2班 (栗山、福永、畠中、新保)
- \*9月お誕生日 Happy Birthday!  
 永島メネット3日、藤原君14日、新保君21日

## Attention Please

1. 9月第1例会 9月15日(水)は、「フレンドシップキャンプ」8月25日(水)~28日(土)が、成功裡に終わったことを記念して、フレンドシップ・パーティを催します。  
 活躍してくれたリーダーほか多くのゲストを招待して、賑やかに楽しみます。応援団であるセンテニアルクラブのみなさん、出席をよろしく。会費は 4,000円。

## 【クラブ統計 Statistics】 下欄( )は、うち広義会員を表わす

2004年8月	種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 21(1)名	メン	9名	9名	8月：切手 395gr.	8月：10,700円
例会出席 12名	メネット	5名	名	現金 2,000円	(04年7月~04年8月の)
うちメークアップ 1名	ビジター	名	名	(04年7月~04年8月の)	累計：27,900円
	ゲスト	1名	名	累計：切手 665gr.	(除く、クリスマス献金、
出席率 60.0%	合計	15名	9名	現金 4,000円	オークション、記念献金)



8月 第1例会

【 Report of the August Club Meeting】

( 8月18日(水) 18:30~20:30 東洋ホテル )  
ブリテン 松浦 孝次

● 残暑なおきびしい8月例会は、ゲストスピーカーにおなじみの大阪 YMCA 国際専門学校校長 神田尚人さんを迎え、メンバー9人、メネット5人が出席して、やや小人数ながらもやかに会をもちました。特筆すべきは、インドのワイズメンズ国際大会から当日帰国したばかりの山田孝彦メンが駆けつけて出席。さすが若い!!と、私などは感服するばかりでした。

● 谷川 寛メンの司会で、ゲスト紹介のあと、中村幸枝メネットによる聖句朗読、そして晩餐の前後にインフォメーション。

まず浜野昌保メンから、間近に迫ったフレンドシップキャンプの案内。一般公募の子供たちが10人になったこと、準備が順調に進行していることの紹介がありました。

続いて 松浦孝次メン、和子メネットから、ほやまの中国築訪談。人間のあまりの多さと、素晴らしい自然(九寨溝)を体験して、中国の明・暗とこの国の将来を見たこと。

山田メンから、インドのワイズ国際大会についての辛口の寸評があり、「最高に ええ加減の大会」だった、しかしこれが少々のことには動じないというインド気質だと、やむなく理解すると。やはり「カレー」、しかも辛いのがよく出たそうです。

● ゲストの大阪 YMCA 神田尚人さんは、「YMCA を創ってきたもの - その背景とプログラム」を、資料にもとづいて、熱意をこめてスピーチされました。なかでも「YMCA プログラムの7つの原則」はよく整理されていると、わがメンバーから好評の声が上がりました。

神田さんは、「祈りに出会わないYMCA 活動はむなし。たとえばYのキャンプは、メンバーの成長と安全を祈って運営し、そのことが若い人たちを支え、育んできた。そもそもJ. ウィリアムズは祈りの会からスタートした」と結ばれました。

なお、自ら属する大阪セントラルクラブの10周年記念例会・9月18日(土)に「ぜひお越しください」とPR。みなさん、都合をつけて行きましょう。

● 谷川 寛メンから、10月9日(日) 香港 bauhinia Club の25周年記念祝宴会有り、招待あり、石津会長と谷川メンが出席する、との報告がありました。参加する人あれば、大歓迎です。



( キャンプ1日目 六甲山YMCAに集まってきた 沖縄の子供たち )

≡≡≡ 今月の聖句に寄せて ≡≡≡

聖書が書かれた時代では当然、様々な差別意識が存在していました。人種、民族間の差別、奴隷制度があり、女は男に従属するものと見られていました。

しかし、使徒パウロのこの聖句が示すように、キリストの教えでは、神の前にはすべての人が平等であることが強調されております。

けれども現代社会においても、西欧民主主義国においてさえも、人種問題をはじめ男女の差別は依然として存在しています。

ワイズメンズ・クラブは国際憲法第2条第1項に明記しているように、「イエス・キリストの教えに基づいて」諸活動を行なっている団体です。そしてその人間観に立つ様々なアクティビティでは当然女性の存在が大きい支えとなって参りました。

9月はそのワイズメンズ・クラブが認めているメネット(西日本区定款第3条)の強調月間です。わがクラブでは、発足以来メネット会の活動が地味ではありますが目覚ましいものがありました。また現在においても、その伝統は脈々と続いております。メネットの活動の上に栄光あれ!!

(聖句選 コメント: 黒田 巖之)



( 上: いよいよ 開会式が始まります・・・  
下: 子どもたちの世話をしてくれた若きリーダーたち )



## 8月第2例会

【 Report of the August Club Meeting 】  
( 8月23日(月) 18:30~20:30 大阪YMCA )  
会長 石津 雅人

### 1. 9月第1例会プログラム

第1面のとおり。会費4,000円とする。  
フレンドシップパーティの、スピーチ・ビデオなど内容については、中村、畠中、浜野の3氏で検討する。  
招待者：キャンプリーダー 14名、関西テレビ 2名、ナラファミリー&フレンド 2名、YMCA 2名  
計20名の予定

### 2: 協議事項及び連絡事項

- ・「フレンドシップキャンプ」について
- ・EMCシンポジウム「本音で語ろうEMC」  
9月11日(土) 14:00~17:00 大阪南YMCA  
出席者の確認を要す—今のところ 藤原、石津・・・
- ・セントラルクラブ10周年記念例会  
9月18日(土) 11:30~14:00 大阪YMCA  
出席者の確認を要す—今のところ 栗山、山田、石津、松浦・・・
- ・中西部合同メネット会・第7回中西部会

### 3: その他

- ・センチナルクラブ「秋の健康ハイキング」の実施について  
11/23(火) 午前10時 阪急六甲駅に集合  
六甲山 森林植物園へ
- ・大阪YMCAチャリティラン 11/7(日) 万博公園で開催

## お知らせ

### 1. EMCシンポジウム 中西部・阪和部合同

日時：04年9月11日(土) 14:00~17:00  
場所：大阪南YMCA 309室  
17:00以降 ピア・パーティあり。  
会費：無料(ただし、懇親会飲み物は実費)

### 2. 大阪セントラルクラブ10周年記念例会

日時：04年9月18日(土) 11:30~13:30  
場所：大阪YMCA会館 10階チャペル  
プログラム：式典・午餐・懇親/  
講演=彭 飛氏(京都外大教授)  
会費：5,000円

### 3-1. 中西部合同メネット会

日時：04年10月2日(土) 13:15~14:15  
場所：“pia NPO”(大阪港) 会費：1,000円  
プログラム：仲川 順子氏スピーチ「ちがいを豊かさにも—  
多文化共生を目指して」

### 3-2. 第8回 中西部会

日時：04年10月2日(土) 14:30~16:00  
場所：“pia NPO”(大阪港) 会費：3,500円  
17:00から、「サンタマリア号」に乗ってクルージング。

## 8月BFニュース

【 Report of the Brotherhood Fund in August 】  
BF委員長：栗山 佳三

◇現金提供者：栗山、山田君

◇切手提供者：山田、浜野、松浦、谷川寛、栗山、隅田、  
福永君 今月の殊勲賞：山田君 200gr

## YMCA ニュース

大阪YMCA統括本部 浜野 昌保

「フレンドシップキャンプ」も無事終了し、ホッとしながら、心地よい疲れを覚えて、8月28日午後3時に、このコーナーを作成しています。とにかく、ワイスの皆様のご奉仕と、ボランティアリーダーの大いなる働きにより、このキャンプができましたことを心より感謝いたします。ありがとうございました。

### ★キリスト教フォーラム “冠婚葬祭とキリスト教”

日時：9月9日(木) 午後7時~8時30分  
場所：大阪YMCA会館 10階チャペル  
講師：岡村恒氏(日本キリスト教団大阪教会牧師)  
参加費：500円  
問合せ：大阪YMCA国際・社会奉仕室 Tel06(6441)0894

### ★イキイキ健康生活セミナー

日時：9月10日(金) 午後2時~3時30分  
場所：YMCAサンホーム  
テーマ：今のうちに聞いておこう!! 高齢者施設編  
~施設の種類と選び方~

講師：大塚由実(YMCAサンホーム在宅支援事業部主任)  
参加費：無料  
問合せ：YMCAサンホーム Tel06(6787)3733

### ★第137回大阪YMCA早天祈祷会

日時：9月17日(金) 午前7時30分~8時30分  
場所：大阪YMCA会館 10階チャペル  
証し：光成幸子氏(堺YMCA運営医院)  
問合せ：大阪YMCA Tel06(6441)0894

### ★2004年度・夏 国際プログラム報告会

日時：9月18日(土) 午後6時~8時  
場所：大阪YMCA会館9階903号室  
内容：今夏開催された大阪YMCA国際プログラムの報告会を行います。それぞれの夏の体験を皆さまとともに分かち合いたいと思いますので、ぜひご参加ください。  
<報告チーム>

- ①HHキャンプ ②スリランカプロジェクト
  - ③台北・シンガポール派遣プログラム
  - ④日米親善中学生バスケットボール交流プログラム
- 問合せ：大阪YMCA統括本部 Tel06(6441)0894



のの Club Activities (August 2004) のの

A total of 14 members, Y's menettes and guests were in attendance at the club's August meeting held at the Toyo Hotel on August 18, 2004.

Y's man MASAYASU HAMANO made an interim report on the preparation of the coming Friendship Camp for the children with various nationalities. The camp will be held at the Mt. Rokko Training Center of the Osaka YMCA and also at Osaka Prefectural Ocean Marine Center from August 25 to 28 under the joint sponsorship of the Osaka YMCA and our club.

Y's man KOJI MATSUURA and Y's menette KAZUKO MATSUURA told their impression on their recent trip to China. Y's man TAKAHIKO YAMADA also made his very fresh report on the Y's Men's International Convention held at Cochin, India. He came back from India in the morning of the day our club meeting was held.

The guest speaker, Mr. NAOTO KANDA, principal of the Osaka YMCA International School, delivered a speech on the current activities of the Osaka YMCA.

Finally, Y's man KAN TANIKAWA reported that both President MASATO ISHIZU and himself would attend at the 25th anniversary celebration of the Bauhinia Club, Hong Kong on October 9, 2004.

IBC クラブニュース

IBC・DBC委員長 藤原 正巳

**"Aloha from Hawaii"** : Nuuanu クラブ/ブリテンから  
抜粋

・新入会員入会式が開催されました。同クラブでは、本年5月以降3人の新会員を迎えています。このうち Fred Wongさんと Cynthia Hansonさんの入会式が7月5日ヒラナカさん宅で開かれたディナー例会で行われました。

入会式は、28人の会員、会員家族、ゲストが見守る中、ハワイ区理事、Paul Kuromotoさんの司式で執り行われ、出席者全員の祝福を受けました。ブリテンによると、お二人は同クラブ創立40周年記念祝宴への出席が機縁となったとのことで、更に今後2人の新人の入会が予定されている由です。(当クラブもがんばらなくては...)

**"Bauhinia News"** : 香港 Bauhinia クラブ・ブリテンから  
抜粋

・会員19人が出席し、2004年～2005年度最初の例会を祝いました。

・クラブ創立25周年記念祝宴が10月9日に香港島 Wanchai の Dynasty Club で開催されます。

(当クラブからは、石津会長、谷川寛メンが出席する予定です)

インド国際大会に参加して

山田 孝彦

第66回ワイス国際大会は、8月12日～15日、インドのコーチ(コチン)で開催されました。このこと、ワイスメンズクラブ一行様にくっついて出かけていった旅、いましっかりしたレポートを書く余裕は無し。しかし、帰国早々、感想文を出せと求められ、とり急いで断片的な印象記事でご勘弁ください。

[1]機内食からインドづくめ

関西空港を14時に飛び立ったインド航空A1315便は香港、デリーに寄港して、ムンバイでインド航空A1690便に乗り換えて、コチン到着が2時45分(時差はあまりないので、この際無視します)

この12時間あまりの間に機内食が三度。内容は、副食が普通食かベジタリアンかの選択以外はほとんど変化なしの、インドのカリー料理。寝ていてもおこされるのに、いささかげんなりしてしまい、インドで出会うであろう食への期待がくじける思いでした。

[2]想像を超えたマイペース時間

これまでも結構いろいろな国の時間感覚に出会ってきたつもりですが、それらの全てを超越した悠久の大国、ということを感じ知らされました。受付係の対応から大会の進行・運営、送迎バスの運行に至るまで、時間単位のずれをものともせず、のおおらかさ、島国日本のこせこせタイム感覚は、いたるところで翻弄されました。

[3]突然のシャワー

「一瞬俄かにかき曇り」、突然真っ暗になったかと思うまもなく、「バケツをひっくり返したような」水の固まりがドット落ちてくる。かの国の人たちは少しも慌てる様子がありません。人々の足元には濁流が流れ、頭からずぶぬれ。逃げるヒマもなく、濡れるに任ずしかない。これが、たとえばレストランの庭でも、ホテルのガーデンでも、観光船の甲板でも、例外はありません。

救いは、ものの数分でピタリと止む。そしてすぐ乾く。また暫くすると同じことが繰り返される。これが今の特徴だそうです。

[4]「なかのしまパワー」ここでも爆発!!

大会プログラムのなかで、「Backwater Cruise」というアトラクションがあり、いくつかのポートに分乗して、クルージングを楽しみました。そのなかで、乗り合わせた人たちのお国自慢歌合戦のようなことが自然に起こりました。「ジャパン、ジャパン・・・」という呼び声に応じて、なんとわが「なかのしま」のおばさん4人組が立ち上がり、船尾に行って「上を向いて歩こうよ」を歌い出したではありませんか。この勢いに、わがセンチアル・ジェントルマンは、カメラのシャッターを切るぐらいの関の山・・・

~~~~~ これにてひとまずおわり ~~~~~



## Friendship Camp '04

2004. 8. 25 (水) ~ 28 (土)  
六甲山YMCAと 大阪府立海洋センター

## 多文化共生社会の実現 に向けて

アメリカンスクール・イン・オキナワ、  
ナラファミリー&フレンド、および一般公募の子供たち

第1回のキャンプは、2002年8月 わがクラブが中心になって大阪で開催しました。沖縄と韓国のアメリカンスクールの子供たち、日本の他国籍の子供たち、合わせて35人が集まって、YMCAの留学生やキャンプリーダーの指導のもとに、親密で暖かい交流を行いました。多文化共生と国際交流をはかることを目的としたものでした。マスメディアも注目し、朝日新聞、沖縄タイムス、共同通信社の取材があり、キャンプの趣旨が広く知られるところとなりました。

今回は、その第2弾として、8月25日(水)~28日(土)の4日間、アメリカンスクール・イン・オキナワの子供たち15人、ナラファミリー&フレンドの子供たち9人、一般公募の日本の子供たち10人、合わせて34人が、六甲山YMCAと岬町の大阪府立海洋センターで、感動的な交流の場をもちました。

オキナワからはセイヤー・ミドリさん、校長のファド・マイケルさん夫妻ほか2人、ナラからは内海さんと シャルマさんが、引率して来られました。

支援の輪も広がりました。大阪YMCAが中心になり、わがセンテニアルクラブをはじめ、関西テレビ青少年育成事業団、アメリカンスクール・イン・オキナワ、ナラファミリー&フレンドが共催し、朝日新聞厚生文化事業団、大阪府キャンプ協会が後援しました。

キャンプリーダーは14人。大阪YMCA、関西テレビ、アサヒキャンプの若い人たちが一所懸命に勤めてくれました。

初日25日、六甲山YMCAにバスで上がってきた子供たちと引率の人たちを迎えて、16時から開会式。夕食のあと、キャンプファイヤーを楽しみました。

この日は、センテニアルから9人(畠中、中村茂、浜野、鈴木、石津、山田、栗山、藤原、松浦)が参加。中西部の松本部長・工藤書記・山本CS主査、西の岡野さん、なかのしまの藤好さんが顔を見せてくれました。

26日は、子供たちは難波周辺で見学と買物。わがクラブのメンバー(石津、山田、栗山、藤原、福永、谷川俊、松浦)は、早くから、若いリーダー数人とともに、会場のセッティングと夕食の準備を担当しました。やさそば、フランクフルト、野菜と肉のバーベキューなど。メネットさんたち(隅田、中村幸、坂本メネット)はゴーヤ・チャンプルを受持ち、本場沖縄の味付けをセイヤーさんやファド・由香さん(校長夫人)から伝授をうけました。まだ海辺の残暑はきびしく、まことに熱い(?)思い。

18時、子供たちは海洋センターに到着。早速屋外で、バーベキュー・パーティです。海辺は、すっかり陽はおちて、フィナーレはみんなが河内音頭で盆踊り。

27日は、海洋センターで、昼は海洋プログラム、夜は交流会を楽しみました。♫

♫ 28日は各地への出発の日、名残を惜しんで散会。懸念していた台風16号の影響を受けなかったのは幸いでした。

なお、28日の朝日新聞朝刊大阪版に、キャンプの記事が掲載されました。(文責 松浦 孝次)



(上から:初日 アメリカンスクールの生徒を紹介する FAD 校長 / 奈良の子供たち / 六甲山食堂で夕食です、Big Daddyの大きな頭がみえます )



# THE OSAKA CENTENNIAL



## ニコニコ・メッセージ 【 Messages from the Club Members 】



### ゲストからのメッセージ

○懐かしい皆さまの前でYMCAについてお話しさせていただき、感謝です。セントラルクラブの10周年記念例会には、皆様ぜひご出席下さい。

(神田 尚人)

### 会員からのメッセージ

○中国やインドの話楽しく聞かせていただきました。YMCAあつてのワイズですから、これからもYMCAのプログラムに積極的に参加していきたいものです。

(石津 雅人)

○松浦さんの中国旅行の話、山田さんのワイズ国際大会でのインドの話をお聞きして異文化と向かいあう難しさを感じました。私は国際人にはなれそうにもありません。

(栗山 圭三)

○神田さんのお話しは大変興味深かったです。異文化共生については、色々問題を抱えていると感じましたが、これにだんだんと慣らされている自分も感じます。

(坂本 千寿)

○YMCAのお話しを、神田校長がいい声でとてもリズムカルに話して下さり面白く勉強させていただきました。来週のフレンドシップキャンプも楽しみです。

(隅田 恵子)

○大変面白い各種スピーチ、ありがとうございました。

(田中 稔二)

○8月例会—小規模でしたが、身内の集まりで楽しい例会でした。神田さんの話、大変参考になりました。

(谷川 寛)

○蒸し暑い今日の集い、ひとつの清涼剤となりました。

(谷川 俊一)

○中国の土産話、インドの大会の話、神田氏の異文化の話、素晴らしい刺激でした。残暑もきついです。皆様お体大切に！

(中村 幸枝)

○今月はYMCAのことを学ぶ時間が与えられ感謝いたします。私どもスタッフの役割の重さを感じながら、ボランティアの会員の方々と共に進んでいきたいと思えます。

(浜野 昌保)

○インド・中国をはじめ、異文化について久しぶりに改めて考えさせられました。私事ながらご心配をおかけしましたが“回復”しております。

(福永 嘉彦・滋子)

○未知の国、インドはどんな国だろうかと思ひ山田さんのお話しを興味深く聞かせて戴きました。神田さんのYMCAについての話はいろいろ考えさせられました。とても楽しい会でした。

(松浦 和子)

○残暑厳しい夕べ、なごやかな例会でした。中国・インドなど多文化を考える例会でした。久しぶりに神田さんのスピーチを聞きましたね。(土佐堀Yではよく意見交換はしていますが。)

(松浦 孝次)

センテニアルクラブのホームページは、  
<http://www.age.ne.jp/x/kyoto>

○国際大会の後のインド旅行から帰ってきたところで、ワイズのおかげでいろんな国を訪れる機会が与えられ、そのつどカルチャーギャップにショックを受けることが多いですが、今回は特大級です。このたび教えられたのは、そのギャップを自分の側からのみ受け止めるのは「思い上がり」があるということです。

(山田 孝彦)



(上: 2日目 海洋センターで夕食前にセイヤーさんからご挨拶  
下: ゴーヤ・チャンプルを作っています)

### 《 編集後記 》

フレンドシップキャンプは成功裡に終わりました。キャンプの総括ディレクターを務めた 畠中 彬・中村茂高メン、全体事務局としてマネージされた大阪YMCAの浜野昌保・樋上恵一さん、本当にご苦労さまでした。また暑いなかで キャンプリーダーを献身的に務められた若い人たちに、感謝します。

子供たちは、価値ある、大きなおみやげをもち帰ったことでしょう。なお、キャンプの総括評価は、追って行われます。

(松浦 孝次)